

呼吸器内科

● スタッフ（2022年10月1日現在）

診療科長 阿部 信二
 医局長 河野 雄太
 病棟医長 富樫 佑基
 外来医長 菊池 亮太

医師数 常勤 12名
 非常勤 3名

● 診療科の特徴

高齢化の進行とともに呼吸器疾患を有する患者が増えてきている。当科は、呼吸器疾患全般について診療を行っているが、大きな特徴は間質性肺炎の患者さんが関東圏でも多い診療科である。今後も呼吸器疾患の診療に対するニーズが高まってくることが予想され、診療連携を通じ、かかりつけ医や、地域中核病院と役割分担を図りながら、診療を行っていく。

● 診療体制と実績

当科が対象とする疾患・症状としては、肺癌、間質性肺炎、COPD、喘息の他、肺炎、呼吸不全、サルコイドーシス、抗酸菌症（肺結核は原則、専門施設へ）などの診療を行っている。外来は初診（午前）と再診（午前と一部午後）の体制を取っており、原則、紹介患者については初診医が対応している。病状の落ち着いた患者については、紹介医またはかかりつけ医でのフォローを依頼し、難病、重症等の専門的対応を必要とする患者については、再診医がフォローする体制としている。2022年度の入院患者は肺癌が大半を占め、次に肺炎等の感染症や間質性肺炎が占めている。症例検討会を通して、治療方針や病態の検討を定期的に行い、効果的な診断、治療を進めている。気管支鏡検査は週2回（月・木）午後、一泊二日の入院で実施している。

